

年度	Academic Year 2022
授業科目名	司法通訳(ポルトガル語) I
学期	春学期
教員名	板尾彩未

講義概要	
<p>本講義では、司法通訳実務に即したオリジナルの教材を活用し、メモを取る訓練やサイトラの訓練を行いつつ、事案ごとの頻出単語や専門用語の通訳及び翻訳手法を学習することにより、法廷通訳、捜査通訳、弁護士接見通訳などにおいて求められる通訳技術を体系的に学びます。</p>	

達成目標	
<p>本講義では、刑事手続の各場面の模擬通訳訓練を行うことにより、法廷通訳のみならず捜査通訳や弁護士接見通訳などにも対応できるように、司法通訳に求められる専門的なスキルや豊富な知識の体得を目指します。</p>	

履修条件(前に履修しておくことが望ましい科目など)	
<p>ポルトガル語及び日本語について司法通訳の学習をするのに必要な語学力があることが前提となります。</p>	

授業計画		
1	授業計画	授業内容の紹介、司法通訳／法廷通訳の法的位置づけ、刑事手続において通訳が必要となる各場面の紹介
	事前学習	裁判所や捜査機関などが求める通訳人像について考えてみる
	事後学習	講義レジュメで手続の流れをもう一度確認する
2	授業計画	任意の事情聴取における通訳の留意点、逮捕手続における通訳及び翻訳の内容
	事前学習	配布した資料を翻訳しておく
	事後学習	授業で習った法律用語を確認する
3	授業計画	検察官送致の際の通訳① 弁解録取手続、勾留尋問(黙秘権、弁護士選任権の通訳方法)
	事前学習	講義レジュメ「被疑事実」を翻訳しておく
	事後学習	逮捕から送致までの通訳内容を整理する
4	授業計画	取調べの通訳① 模擬取調べによる通訳訓練(メモの取り方)
	事前学習	「被疑事実」の内容から模擬取調べで何を通訳するかを考えてみる
	事後学習	模擬取調べの通訳で難しかった点を整理する

5	授業計画	取調べの通訳② 調書(シナリオ)のサイトラ訓練
	事前学習	前回の講義内容を確認しておく
	事後学習	調書(シナリオ)を一通り翻訳してみる
6	授業計画	法廷通訳① 起訴状の訳し方、通訳の依頼から初公判までの流れ
	事前学習	講義レジュメ「起訴状記載の公訴事実」の翻訳文を準備しておく
	事後学習	講義で習った法律用語をもう一度確認する
7	授業計画	法廷通訳② 模擬裁判(冒頭陳述など各書面の訳し方)
	事前学習	書面(シナリオ)を翻訳するなどして、通訳の準備をしておく
	事後学習	各書面の準備方法について整理する
8	授業計画	法廷通訳③ 模擬裁判(証人尋問による通訳訓練)
	事前学習	本事例の証人の属性から尋問内容を予測する
	事後学習	上手く訳せなかった部分があれば、その理由を整理しておく
9	授業計画	法廷通訳④ 模擬裁判(被告人質問による通訳訓練)
	事前学習	本事例の「公訴事実」を確認しておく
	事後学習	講義内容を思い出して、否認事件の場合と自認事件の場合の違いを整理する
10	授業計画	法廷通訳⑤ 論告要旨、弁論要旨の訳し方
	事前学習	書面(シナリオ)を翻訳するなどして、通訳の準備をしておく
	事後学習	授業で習った独特な表現の翻訳方法を復習する
11	授業計画	法廷通訳⑥ 判決文(シナリオ)の翻訳方法
	事前学習	書面(シナリオ)を翻訳する
	事後学習	講義レジュメに書き込むなどして、これまでの手続の流れを正確に理解する
12	授業計画	弁護士接見における通訳(通訳訓練及び留意点)
	事前学習	「刑事手続の流れ」をもう一度確認しておく
	事後学習	授業で習ったことを復習して、内容を整理する
13	授業計画	窃盗事件のシナリオを用いた通訳訓練
	事前学習	「犯罪事実」の翻訳文を準備しておく
	事後学習	授業で習った法律用語を復習する

14	授業計画	共犯事件のシナリオを用いた通訳訓練
	事前学習	犯罪行為の役割分担について考えてみる
	事後学習	授業で習った法律用語を復習する
15	授業計画	試験
	事前学習	これまでに習ったことを復習する
	事後学習	司法現場のどの場面で実際に通訳したいかを考えてみる

#### 授業方法

授業は日本語で行いますが、実践的な通訳訓練は日本語とポルトガル語の双方向で行います。教材は主に講義レジュメ(オリジナル教材)を使用します。模擬裁判で使用するシナリオの一部については、事前に翻訳文を準備する必要があります。サイトラの授業では教材を印字する必要がありますので、プリンタのある環境で受講して下さい。

#### 成績評価方法

本講義では、授業でのパフォーマンス及び本学期末に行う試験により総合的に成績を評価します。

年度	Academic Year 2022
授業科目名	司法通訳(フィリピン(タガログ)語) I
学期	春学期
教員名	高畑 幸

講義概要	
<p>捜査、弁護士接見、裁判等での司法通訳に対して注意すべき点についての理解を深め、通訳の基礎訓練を通じて実践で使えるフィリピン(タガログ)語の語彙を増やし、通訳技能の基礎を学ぶ。</p>	

達成目標	
<p>法廷通訳等、日本の司法に関わる様々な場面での通訳業務に必要な基礎的知識と技能を身に着ける。</p>	

履修条件(前に履修しておくことが望ましい科目など)	
<p>・通訳が可能なレベルのフィリピン(タガログ)語と日本語の能力があり、基礎的訓練を大切にしつつ向学心を持って勉強を続けられること。          ・テキストは以下の2冊。最高裁判所(2012)『法廷通訳ハンドブック・実践編・フィリピン(タガログ)語(改訂版)』法曹会。最高裁判所(2017)『少年審判通訳ハンドブック・フィリピン(タガログ)語(改訂版)』法曹会。全国官報販売協同組合サイトで購入可能。(https://www.gov-book.or.jp/book/)          ・第13回授業までに、授業時間外に各自で要通訳事件の裁判傍聴をして下さい。フィリピン(タガログ)語の事件が望ましいですが、無理な場合は別の言語でも構いません。第14回授業で、各自で傍聴した事件の概要と通訳人の仕事についての観察を報告してもらいます。</p>	

授業計画		
1	授業計画	ガイダンス
	事前学習	法廷通訳ハンドブック全体を通読しておく。
	事後学習	各自で授業ノートを作り復習。
2	授業計画	基礎的な法律用語のフィリピン語
	事前学習	事前に提示する頻出用語を覚えておく。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
3	授業計画	通訳基礎訓練(1)ノートテイキング、日本語のシャドーイング
	事前学習	法廷のドラマを観て、日本語の法廷用語に慣れておく。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。ドラマを見ながらシャドーイングを試みる。

4	授業計画	通訳基礎訓練(2)日本語のリプロダクション
	事前学習	法廷のドラマを、セリフをノートにとりながら観る。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強、法廷のドラマでリプロダクションの練習をする。
5	授業計画	短い文を使った通訳練習(日本語からフィリピン語)
	事前学習	法廷のドラマを観て、頭の中で日本語からフィリピン語の通訳を試みる。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。法廷のドラマを観て、実際に日本語からフィリピン語に通訳を試みる。
6	授業計画	短い文を使った通訳練習(フィリピン語から日本語)
	事前学習	法廷のドラマを観て、頭の中でフィリピン語から日本語の通訳を試みる。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。法廷のドラマを観て、実際にフィリピン語から日本語に通訳を試みる。模擬書面(起訴状)の翻訳。
7	授業計画	入管法違反事件の模擬公判(1)冒頭手続きと起訴状朗読等
	事前学習	事前に渡す模擬書面(起訴状)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
8	授業計画	入管法違反事件の模擬公判(2)検察官の冒頭陳述
	事前学習	事前に渡す模擬書面(冒頭陳述)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
9	授業計画	入管法違反事件の模擬公判(3)書証の要旨告知
	事前学習	事前に渡す模擬書面(証拠の要旨)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
10	授業計画	入管法違反事件の模擬公判(4)被告人質問
	事前学習	事前に渡す模擬書面(シナリオ)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
11	授業計画	入管法違反事件の模擬公判(5)検察官の論告と求刑
	事前学習	事前に渡す模擬書面(論告要旨)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。

12	授業計画	入管法違反事件の模擬公判(6)弁護人の弁論
	事前学習	事前に渡す模擬書面(弁論要旨)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強。
13	授業計画	入管法違反事件の模擬公判(7)判決、執行猶予の説明、入管法違反事件の振り返り
	事前学習	事前に渡す模擬書面(判決文)の翻訳。
	事後学習	授業ノートで復習、次週の単語テストの勉強、裁判傍聴報告の準備。
14	授業計画	要通訳裁判傍聴をした事件に関する報告と意見交換
	事前学習	裁判傍聴をした事件についての報告を準備する。
	事後学習	授業ノートで復習。
15	授業計画	まとめ、理解度確認(試験)
	事前学習	春学期に学んだ法律用語や通訳技術を再確認する。
	事後学習	春学期の授業を総合的に振り返って復習する。

#### 授業方法

授業中に実際に訳す機会を多く設ける。毎回、授業の終わりに新出の単語をまとめ、翌週の冒頭で単語(フレーズを含む)テストをする。受講生と講師、および、受講生同士で積極的に意見交換や通訳・翻訳業務に関するアドバイスの交換を行いたい。

#### 成績評価方法

毎週の単語テストの点数、授業への積極的な参加態度、通訳能力の向上の度合いで総合的に判断する。

年度	Academic Year 2022	
授業科目名	司法通訳(ミャンマー(ビルマ)語) I	
学期	春学期	
教員名	原田 正美	
講義概要		
通訳の基礎訓練法を学び通訳力を高め、「法廷通訳人」に必要となる知識と技能を身につける		
達成目標		
1)通訳力アップのための訓練法を身につける、2)法廷通訳における日・緬両用語、口語・文語力を身につける、3)法廷通訳の現場に対応できる知識と技能を身につける		
履修条件(前に履修しておくことが望ましい科目など)		
『法廷通訳ハンドブック 実践編<ミャンマー語>(改訂版)』を事前に入手すること。		
授業計画		
1	授業計画	イントロダクション「司法通訳とは」。心構え、ミャンマー語の場合。
	事前学習	『法廷通訳ハンドブック』を眺めておく
	事後学習	どのような通訳人を目指すのかイメージする
2	授業計画	通訳基礎訓練①「シャドーイング、リテンション」
	事前学習	事前配布資料により予習
	事後学習	講演などの音声を聞いて授業で学んだことを試してみる
3	授業計画	通訳基礎訓練②「サイトトランスレーション」
	事前学習	事前配布資料により予習
	事後学習	書かれた記事などをサイトラしてみる
4	授業計画	通訳基礎訓練③「メモ取り、リプロダクション」日日、緬緬
	事前学習	事前配布資料により予習
	事後学習	動画等の音声を用いて授業で学んだことをやってみる

5	授業計画	通訳基礎訓練④「メモ取り、逐次通訳」緬日
	事前学習	事前配布資料により予習
	事後学習	動画等の音声を用いて授業で学んだことをやってみる
6	授業計画	通訳基礎訓練⑤「メモ取り、逐次通訳」日緬
	事前学習	事前配布資料により予習
	事後学習	自分なりのメモ取りの工夫をまとめてみる
7	授業計画	基礎的法律用語や文語文体について
	事前学習	『法廷通訳ハンドブック』の中の法律用語や各種書面などを見ておく
	事後学習	基本語彙や文体の復習
8	授業計画	起訴状翻訳、接見(弁護士と被疑者のやり取り)
	事前学習	事前に配布された資料により予習
	事後学習	起訴状の雛型、接見での注意点などを再確認
9	授業計画	傷害事件模擬裁判(1)冒頭手続き(検察側、弁護人側)
	事前学習	事前に配布された資料により予習
	事後学習	「宣誓」や「黙秘権」など定型文を復習する
10	授業計画	(2)証拠調べ(検察、弁護人)冒頭陳述
	事前学習	事前に配布された資料により予習
	事後学習	頻出する用語などを確認する
11	授業計画	(3)証人尋問
	事前学習	事前に配布された資料により予習
	事後学習	注意点の再確認
12	授業計画	(4)被告人質問
	事前学習	事前に配布された資料により予習
	事後学習	注意点の再確認
13	授業計画	(5)弁論
	事前学習	事前に配布された資料により予習
	事後学習	注意点の再確認

14	授業計画	(6)判決
	事前学習	事前に配布された資料により予習
	事後学習	注意点の再確認
15	授業計画	まとめの確認テスト
	事前学習	今学期で学んだ通訳技術、法廷通訳に関わる知識等を復習しておく
	事後学習	難しかった点を見直す
授業方法		
講義(解説)に加え、発表、ペアまたはグループワーク、模擬公判、あるいは教師との双方向のやり取りなど。		
成績評価方法		
成績は「まとめの確認テスト」の点数と毎回の授業への取り組み、通訳上達度などで総合評価する。		